

資生堂、「化粧・美容による社会貢献」活動を強化
～ソーシャルビューティーケアセンターの設備を拡張～

資生堂は、2008年6月21日(土)に、資生堂本社ビル3階で展開するソーシャルビューティーケアセンターを拡張し、1階部分に集合セミナーを開催できるセミナールーム他を増設します。

当社は、「化粧・美容による社会貢献」を資生堂ならではのCSR活動の中核と位置づけており、コーポレートメッセージ「一瞬も 一生も美しく」のもと、すべてのお客さまの「より美しくなりたい」という願いに応えることでよき企業市民として社会に役立つべく、今後さらに活動を強化していきます。

活動強化の内容

ソーシャルビューティーケアセンターでは、あざや傷跡など肌に深い悩みを持つ方々に向け、メイクアップ技術のアドバイスを通じてQOL向上をサポートする活動を行っています。その一環に、がん患者およびがん体験者の方々に向けた活動があり、肌色の悩みをカバーするファンデーションの開発や、趣旨に賛同いただいた医療機関等に出張して、肌悩みに対応したメイクアップとスキンケアのアドバイスを行っています。今後この活動を強化し、出張アドバイスを継続する一方、当センターで同内容の集合セミナーを開催していきます。

また、医療従事者・ソーシャルワーカー・患者会運営者といった医療周辺を支える方々に向け、化粧・美容を通じた患者さんのQOL向上について体験いただき、理解を深めていただきつつ心と体のリラクゼーションをサポートする活動を新たに始めます。具体的には、化粧で気持ちが明るく前向きになることを実感いただくメイクアップ体験、肌の快適さが気持ちの快適さに通じることを実感いただくスキンケア体験やエステ体験などです。

いずれも原則として協力関係にある医療機関からの紹介を対象に実施していきます。

【拡張後のソーシャルビューティーケアセンター】

	拡張部分	【ご参考】 現行部分
所在地	資生堂本社ビル1階	資生堂本社ビル3階
設備	セミナールーム1室、パーソナルルーム2室他(面積143㎡)	実習スペース3室、対話スペース1室、トレーニングルーム他(面積108㎡)

資生堂の「化粧・美容による社会貢献」

創業以来136年、一貫してお客さまの喜びをめざす資生堂の企業活動は、そのままCSR活動と軸を同じくしてきました。「企業の社会的責任として必ず取り組むべき基本的CSR」の実践はもちろん、「資生堂ならではのCSR」として「化粧・美容」「女性」「文化資本」をテーマに活動を進めています。

す。なかでも本業である「化粧・美容」においては、創業以来化粧品に関してハード・ソフトの両面で蓄積してきた研究成果を活用し、一人ひとりのお客さまの美の実現をお手伝いして心まで豊かになっていただくことをめざしてきました。

ソーシャルビューティーケアセンター

資生堂は、1990年代初めから医療機関と連携して肌に深い悩みを持つ方々にメイクアップアドバイスを行ったり、あざ等の方にもおすすめできるファンデーションの開発に取り組んできました。2006年6月には資生堂のCSR活動の柱として強化するため、東京・銀座の本社ビル内に基幹施設としてソーシャルビューティーケアセンターを開設しました。プライバシーが保たれた空間で完全予約制により、医療機関でのOJTなど専門の教育を受けた10名のビューティーコンサルタントがそれぞれの肌悩みに適したファンデーションで肌をカバーする技術やご希望に合わせたメイクアップのアドバイスを無料で行っています。全国に約500カ所ある提携医療機関からの紹介や資生堂ウェブサイトでの告知などにより、小さなお子さまからご高齢の方まで開設以来800名を超える方々が来所し「治療しきれなかった部分がかばできて気にならなくなった」「積極的に外出を楽しめるようになった」など、多くの喜びの声をいただいています。この活動は、趣旨に賛同いただいた化粧品専門店、デパート、医療機関の全国約300カ所でも展開しています。

所在地：東京都中央区銀座7-5-5

電話：03-3289-2262

営業：祝祭日を除く火～金曜日の11～19時

URL：<http://www.shiseido.co.jp/sbcc/index.htm>

* お電話にて肌の状態を確認し、予約いただきます。通院中の方は必ず主治医の確認を取っていただきます。